

# 平成30年3月期（第16期） 決算説明会

平成30年5月16日  
株式会社ジーダット

**1.平成30年3月期 決算概要**

**2.平成31年3月期 計画・業績予想**

# 平成30年3月期のポイント

売上高:18.6億円(対前年比10.0%増)  
営業利益:1.1億円(32.0%減)、経常利益:1.2億円(31.7%減)

ソリューション・ビジネスが大幅に拡大(41.2%増)

海外市場向け売上が復活基調(68.7%増)

人員増に対応して各地オフィスを増床／移転

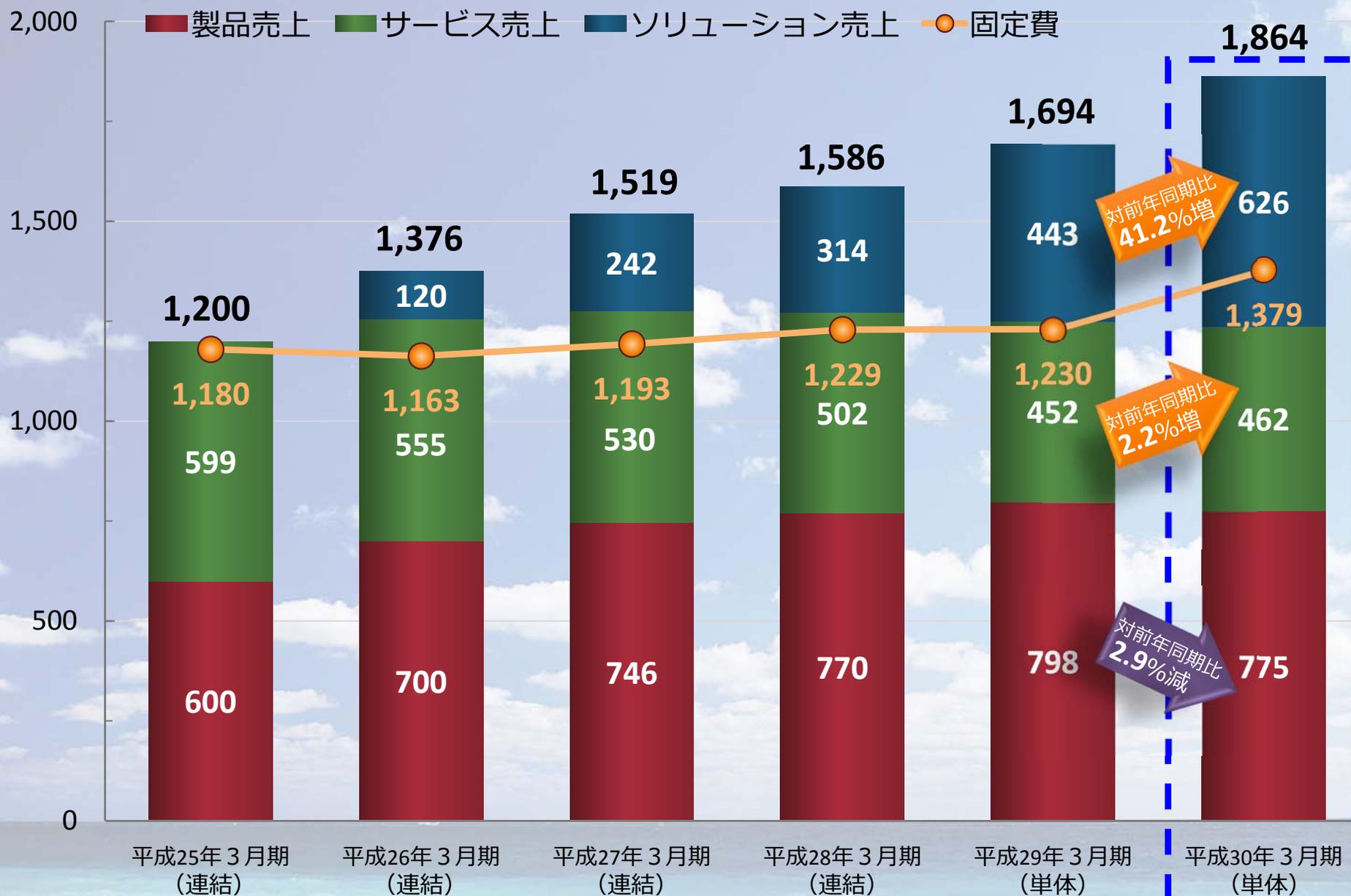
# 平成30年3月期業績概要

(単位：百万円)

	平成29年3月期		平成30年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	対前期比
売上高	1,694	100.0%	1,864	100.0%	+10.0%
売上総利益	1,114	65.7%	1,126	60.4%	+1.1%
販売費及び 一般管理費	939	55.4%	1,007	54.0%	+7.2%
営業利益	174	10.3%	118	6.4%	△32.0%
経常利益	187	11.0%	127	6.9%	△31.7%
当期純利益	178	10.5%	92	5.0%	△48.0%

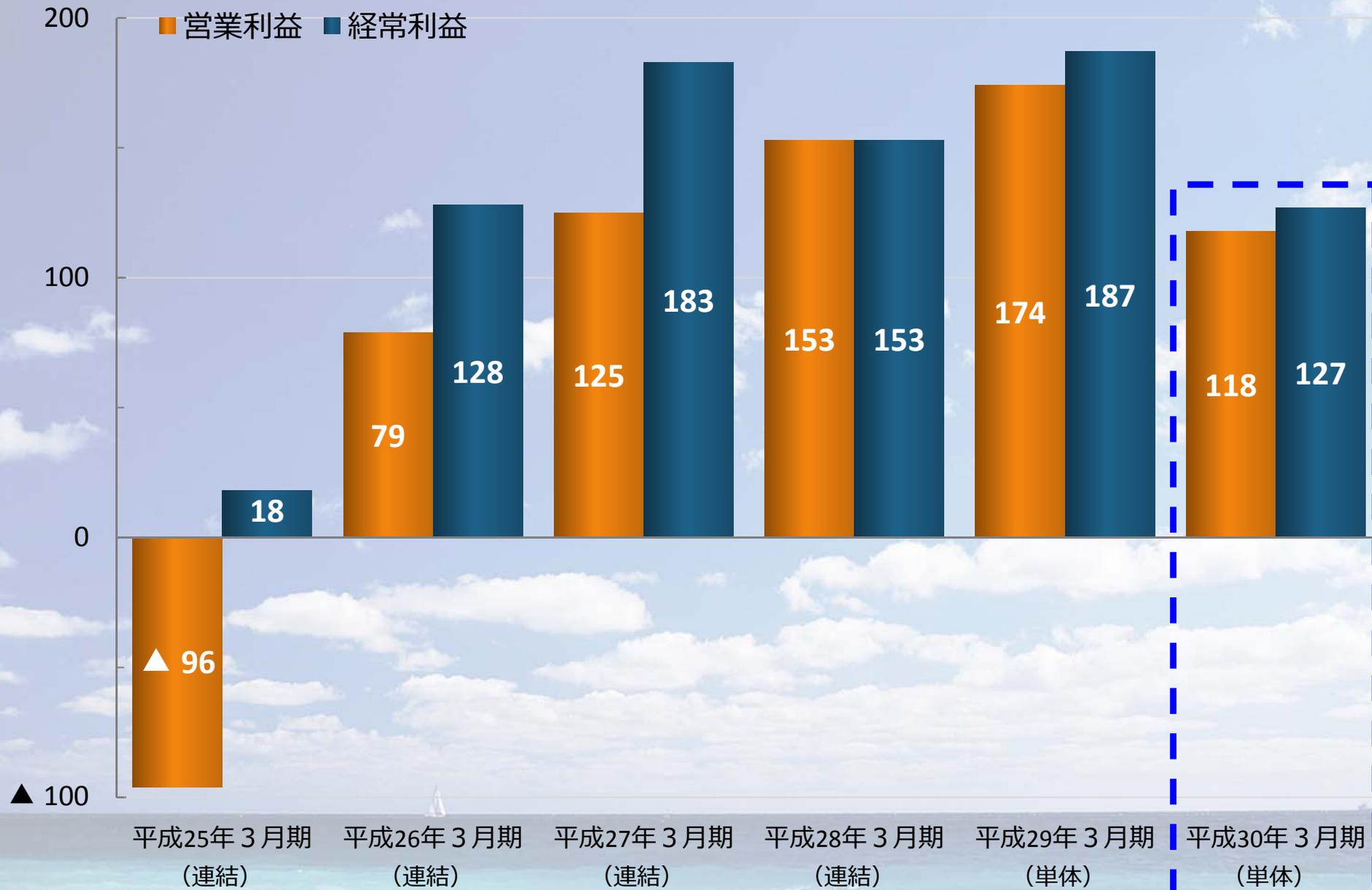
# 売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



# 利益の推移

(単位：百万円)



# 市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



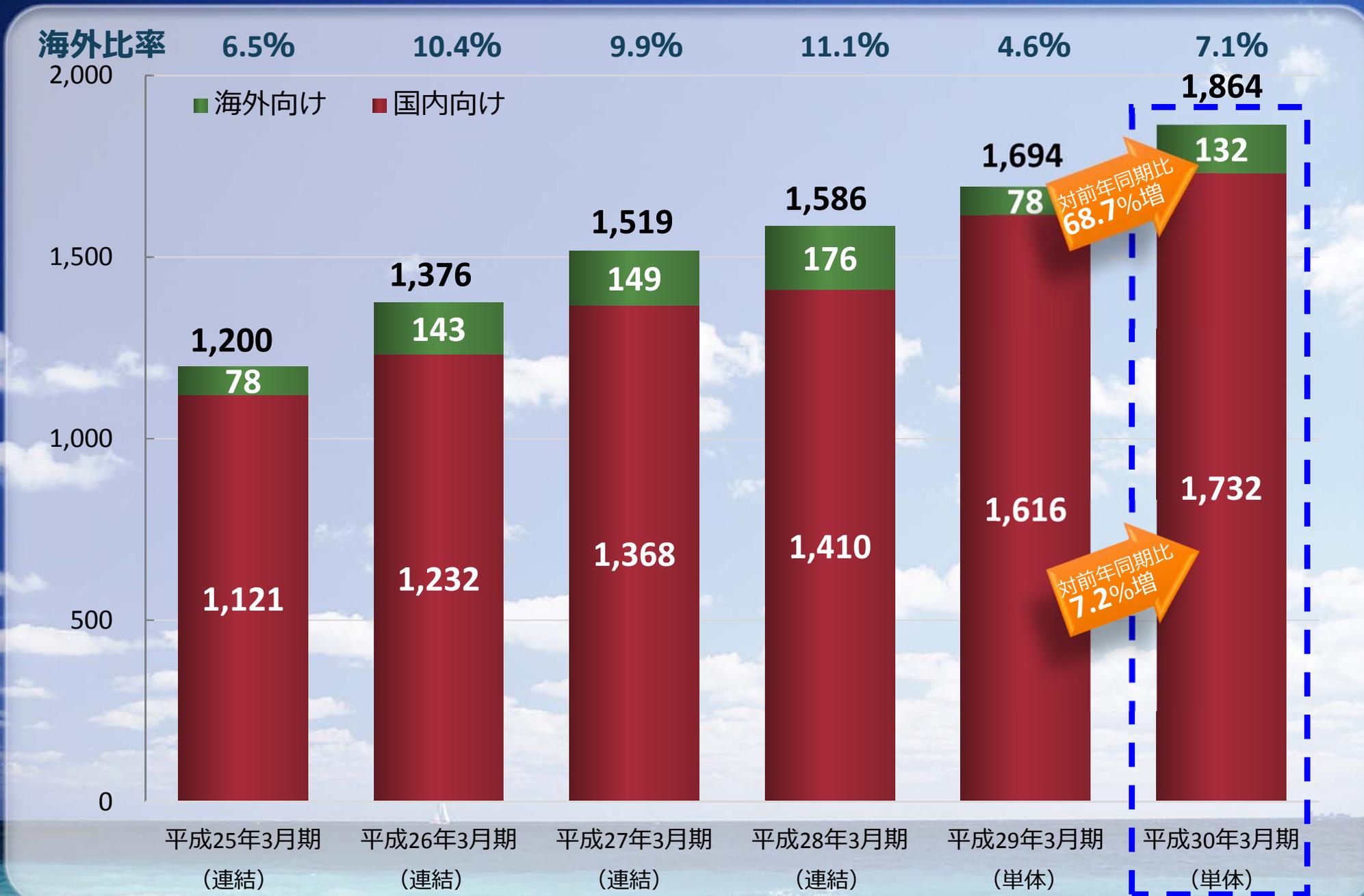
# 製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



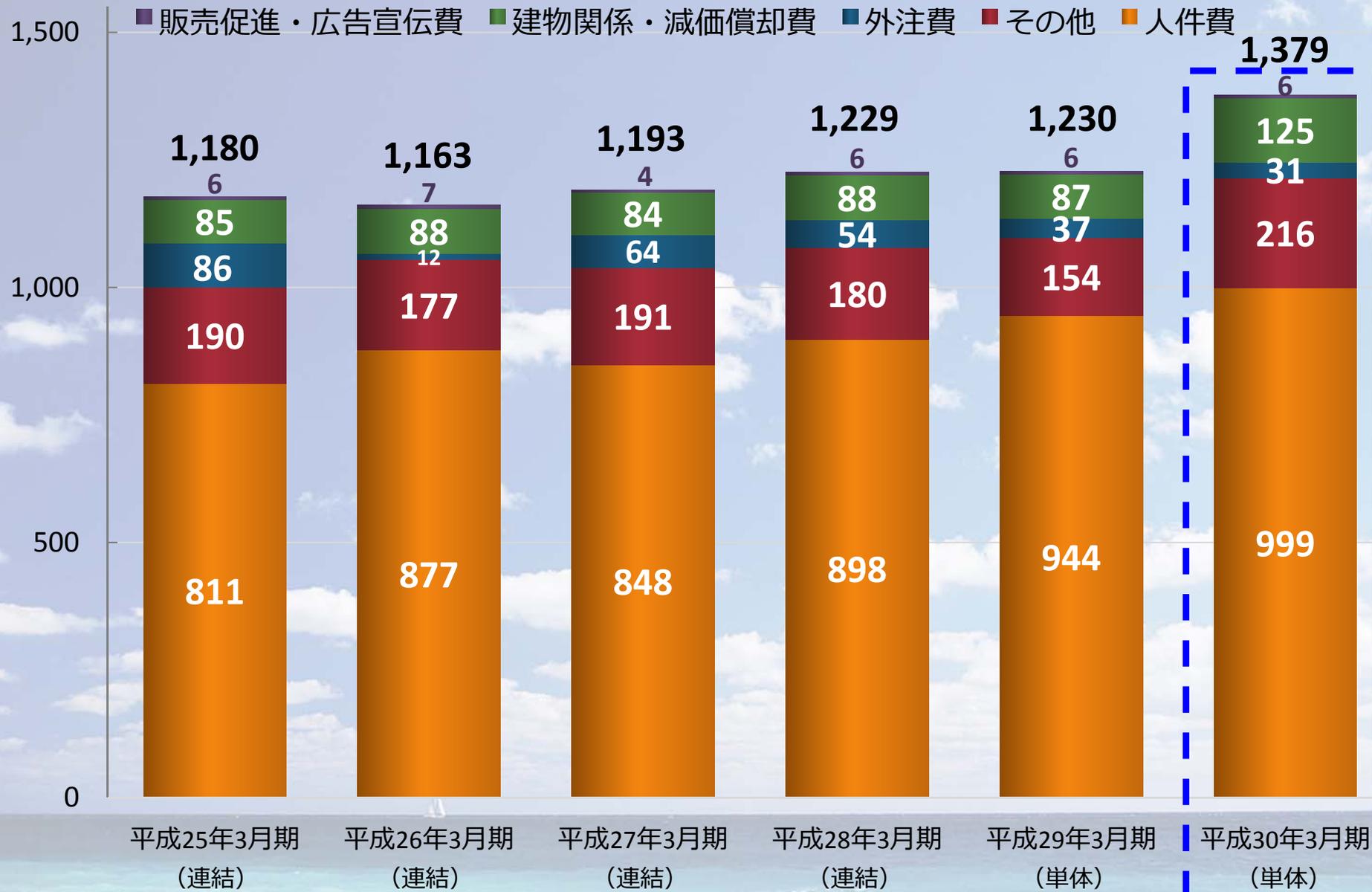
# 販売先別売上高（国内/海外）

(単位：百万円)



# 固定費内訳

(単位：百万円)



# 貸借対照表

(単位：百万円)

	平成29年 3月期末	平成30年 3月期末	差異		平成29年 3月期末	平成30年 3月期末	差異
移転に伴う敷金及び 設備品等に関する支出							
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	2,909	3,019	109	I 流動負債	501	422	△78
1 現金及び預金	2,465	2,347	△118	1 買掛金	42	34	△8
2 受取手形及び売掛金	207	268	61	2 未払法人税等	33	24	△8
3 電子記録債権	113	107	△5	3 賞与引当金	91	91	0
4 有価証券	0	200	200	4 その他	333	271	△61
5 たな卸資産	15	4	△10	II 固定負債	—	3	3
6 繰延税金資産	36	36	0	資産除去債務	—	3	3
7 その他 償還時期1年以内	70	53	△17	負債合計	501	426	△75
II 固定資産	282	161	△121	(純資産の部)			
1 有形固定資産	15	44	29	I 株主資本	2,688	2,753	64
2 無形固定資産	10	11	0	1 資本金	760	760	—
3 投資その他の資産合計	256	105	△151	2 資本剰余金	890	890	—
投資有価証券	222	40	△182	3 利益剰余金	1,071	1,135	64
繰延税金資産	9	5	△4	4 自己株式	△32	△32	—
その他	24	59	35	III 新株予約権	1	1	—
資産合計	3,191	3,180	△11	純資産合計	2,690	2,754	64
				負債純資産合計	3,191	3,180	△11

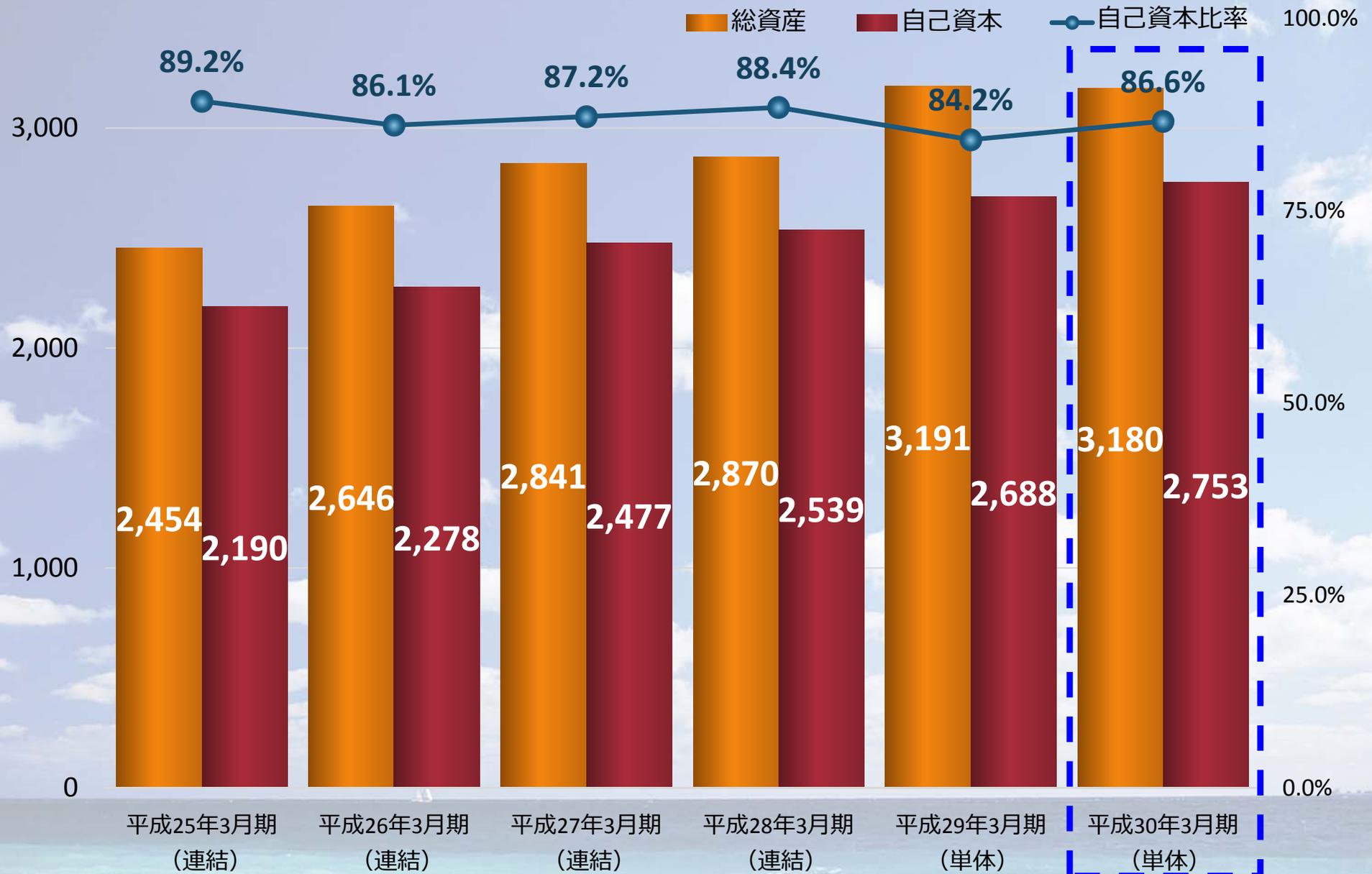
# キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	平成29年3月 期末	平成30年3月 期末	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	255	0	△254
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	286	△61	△347
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△28	△28	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	△1
V 現金及び現金同等物の増減額	513	△90	△603
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,024	1,537	513
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,537	1,447	△90

# 総資産・自己資本

(単位：百万円)



## ◆主力製品の機能拡張を継続

- 6月 「SX-Meister」 Ver.3.0.0をリリース
  - 主にレイアウト自動設計機能を強化
- 12月 「SX-Meister」 Ver.4.0.0をリリース
  - 主に回路解析系機能を強化



## ◆各地オフィスを増床／移転

- 東京本社(中央区):25%増
- 熊本事業所(熊本市):101%増
- 西日本営業所(大阪市):30%増



## ◆ISO9001認証を更に取得

- 「SX-Meister」の開発部隊(開発本部)も取得
- 熊本事業所が適用範囲を液晶設計に拡大

1.平成30年3月期 決算概要

2.平成31年3月期 計画・業績予想

# 平成31年3月期のポイント

**売上高:21.0億円 (対前年比12.6%増)**  
**営業利益:1.7億円 (対前年比 43.2%増)**

**主力製品の開発力／販売力の増強**

**海外市場における顧客層の拡張**

**ソリューション・ビジネスの拡大**

# 平成31年3月期業績概要

(単位：百万円)

	平成30年3月期		平成31年3月期		
	実績	売上高比	計画	売上高比	対前期比
売上高	1,864	100.0%	2,100	100.0%	+12.6%
売上総利益	1,126	60.4%	1,282	61.1%	+13.9%
販売費及び 一般管理費	1,007	54.0%	1,112	53.0%	+10.4%
営業利益	118	6.4%	170	8.1%	+43.2%
経常利益	127	6.9%	170	8.1%	+33.0%
当期純利益	92	5.0%	113	5.4%	+21.9%

## ◆全般

- 世界市場では継続成長中
- 国内市場でも特定分野は好調  
(自動車, 携帯機器, サーバー関連向け)

## ◆半導体

- 業界再編は継続中(国内外)
- 国内のファブレス・IPベンダの活動が拡大
- 国内で設計アウトソーシング需要がひっ迫

## ◆FPD

- 異形表示パネル・有機ELパネルの開発が佳境
- 国内の設計アウトソーシング需要が増大

## ◆「SX-Meister」の開発力／販売力の増強

### ➤ 企画からサポートまでを一体化した開発体制を確立

- 「AnaCell」、「匠データベース」の新規リリース
- 設計自動化ツールの機能拡張
- パワーデバイス、異形表示パネル設計ツールの完成度向上

### ➤ 戦略的な販促プロモーションを展開

- プライベートセミナーの開催
- バージョンアップセミナーの開催
- 国内外の各種専門展示会・学会への出展
- 強力な代理販売品を絡めた販売活動

## ◆ソリューション・ビジネスの拡大

### ➤ デバイス設計受託の分野を拡張

- 液晶の設計受託分野にも本格進出
- 「ターンキー」ビジネスの立ち上げ

### ➤ EDAアウトソーシングを継続

- 前年度実績に基づき継続展開

## ◆ 海外市場における顧客層の拡張 （半導体市場への展開）

### ➤ 重点販売国に注力

- 台湾、韓国、米国

### ➤ 競争力のある重点販売製品を投入

- パワーデバイス設計ツール
- 異形表示パネル設計ツール

## ◆ 新事業分野のビジネス化

### ➤ センサー見守りシステムの実用化

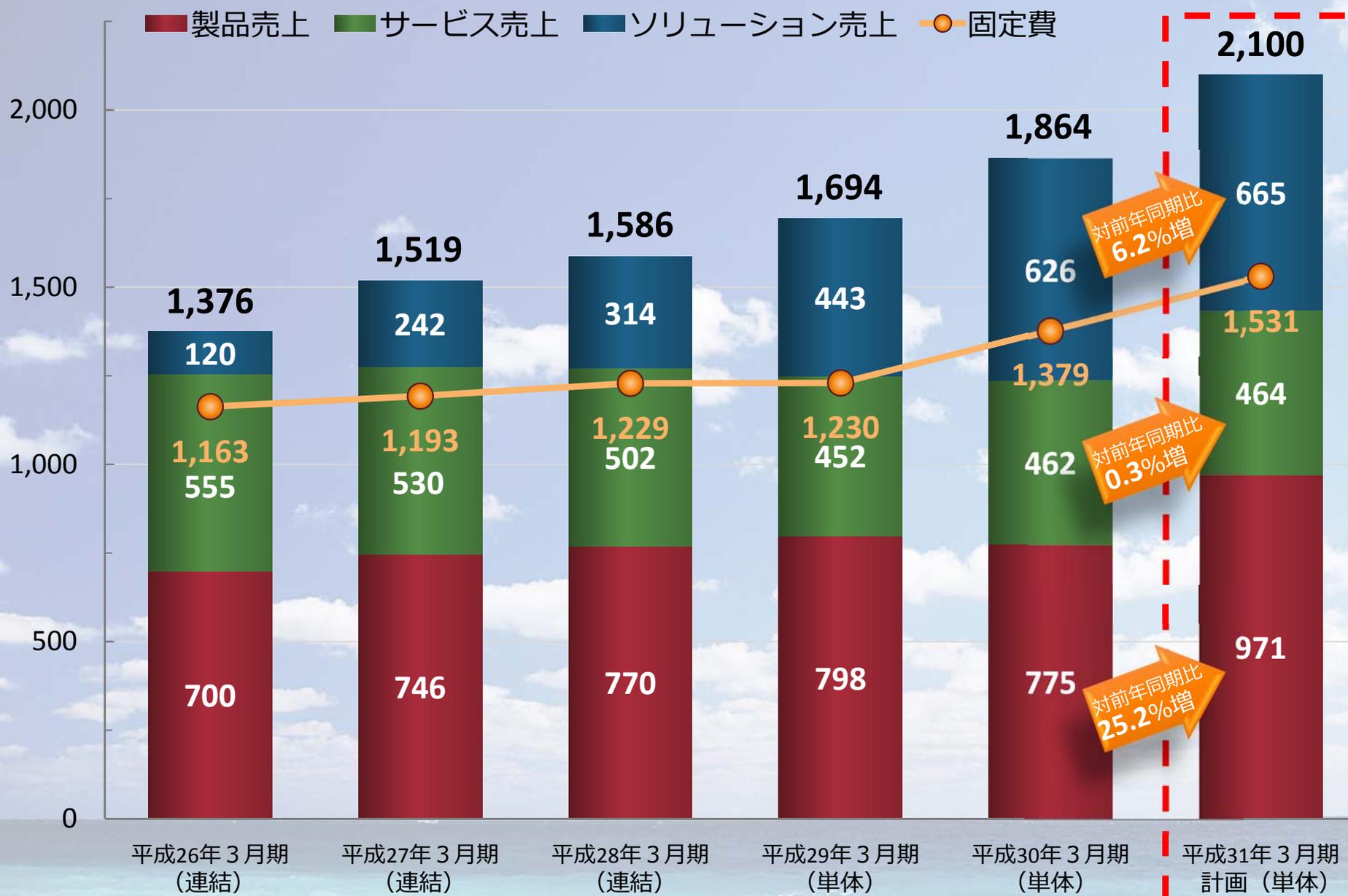
- 「工場見守りシステム」の製品化を検討

### ➤ エネルギーマネージメント分野への進出

- 代理販売品を主軸とした提案活動

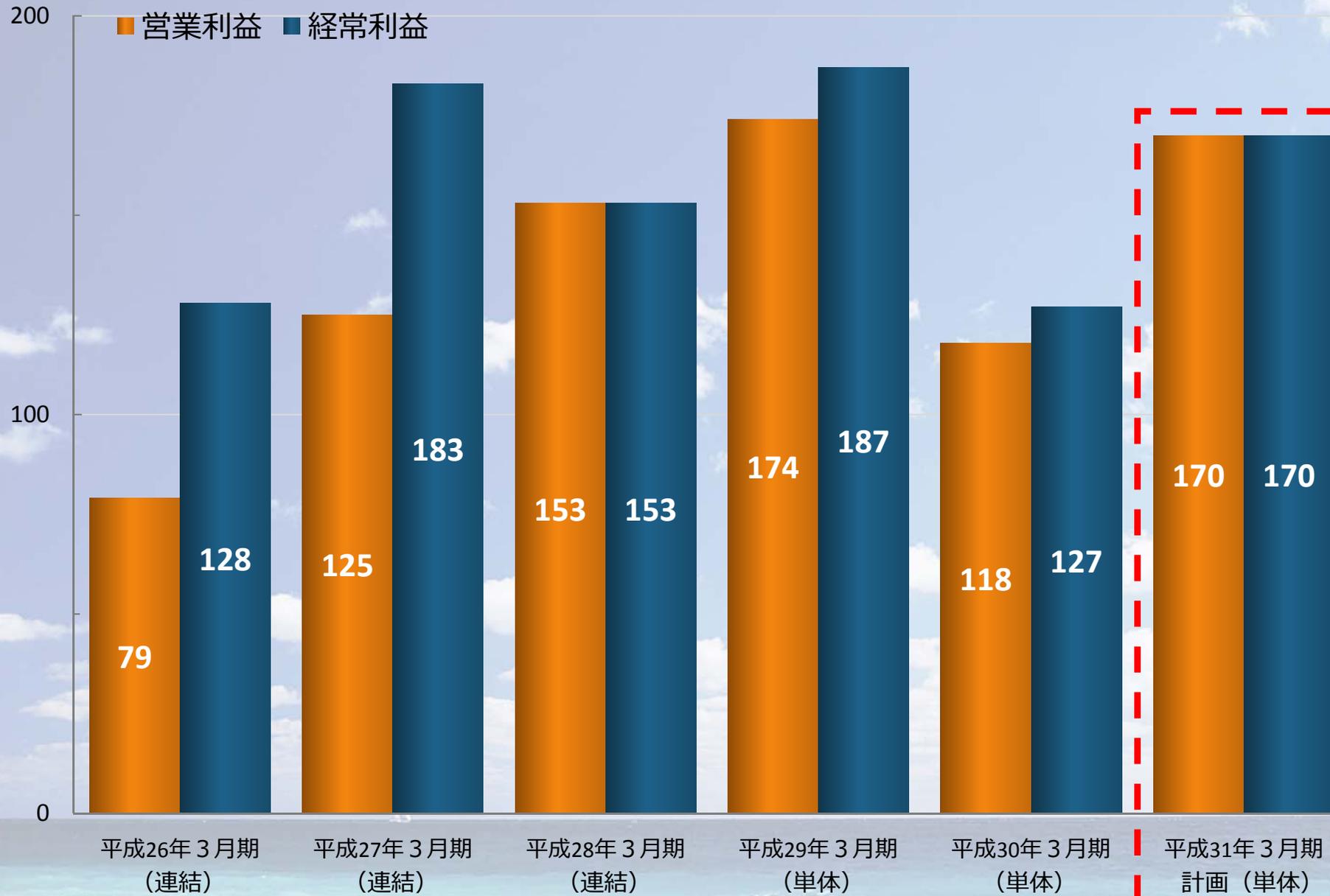
# 売上高・固定費の推移

(単位：百万円)



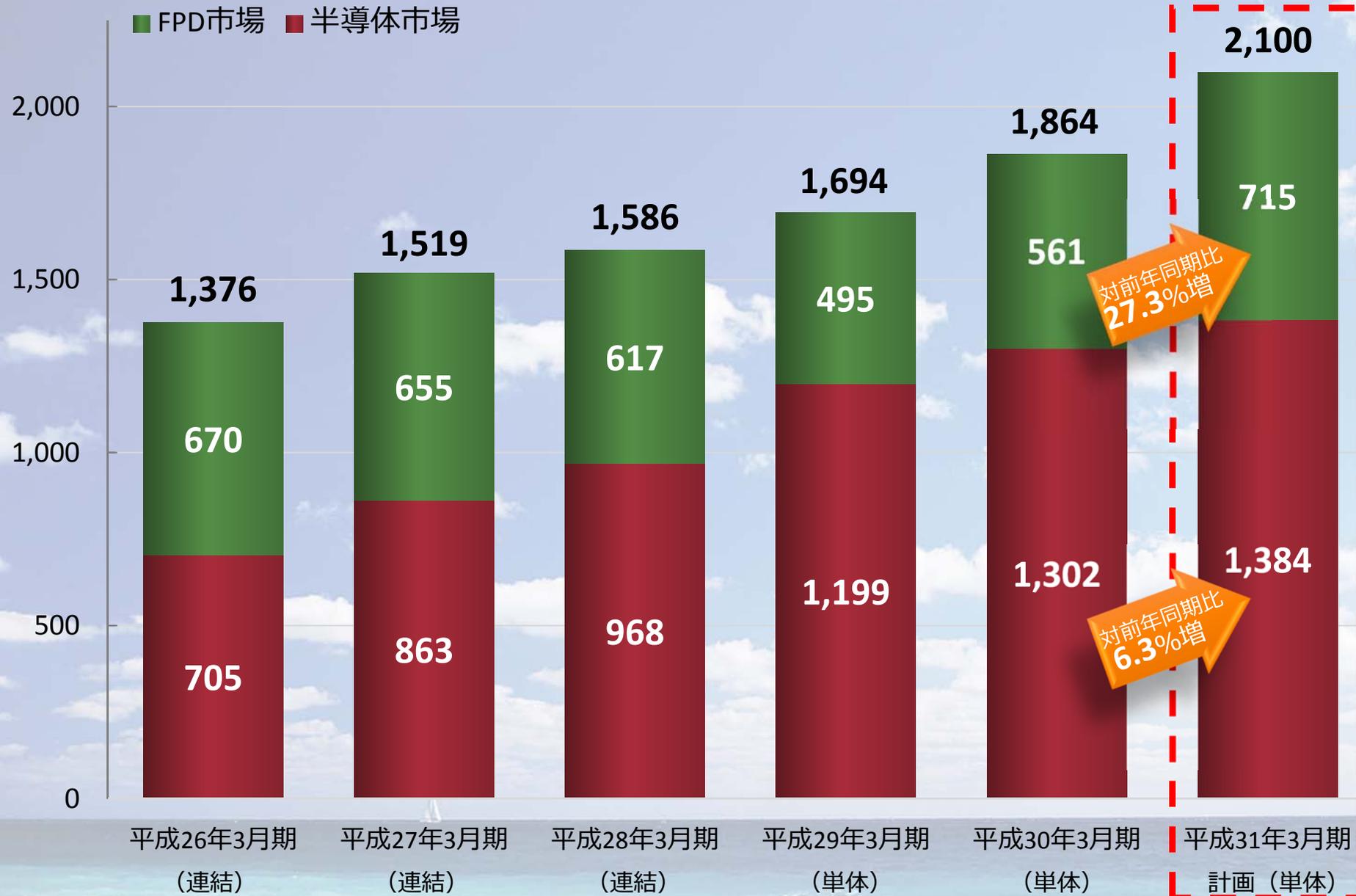
# 利益の推移

(単位：百万円)



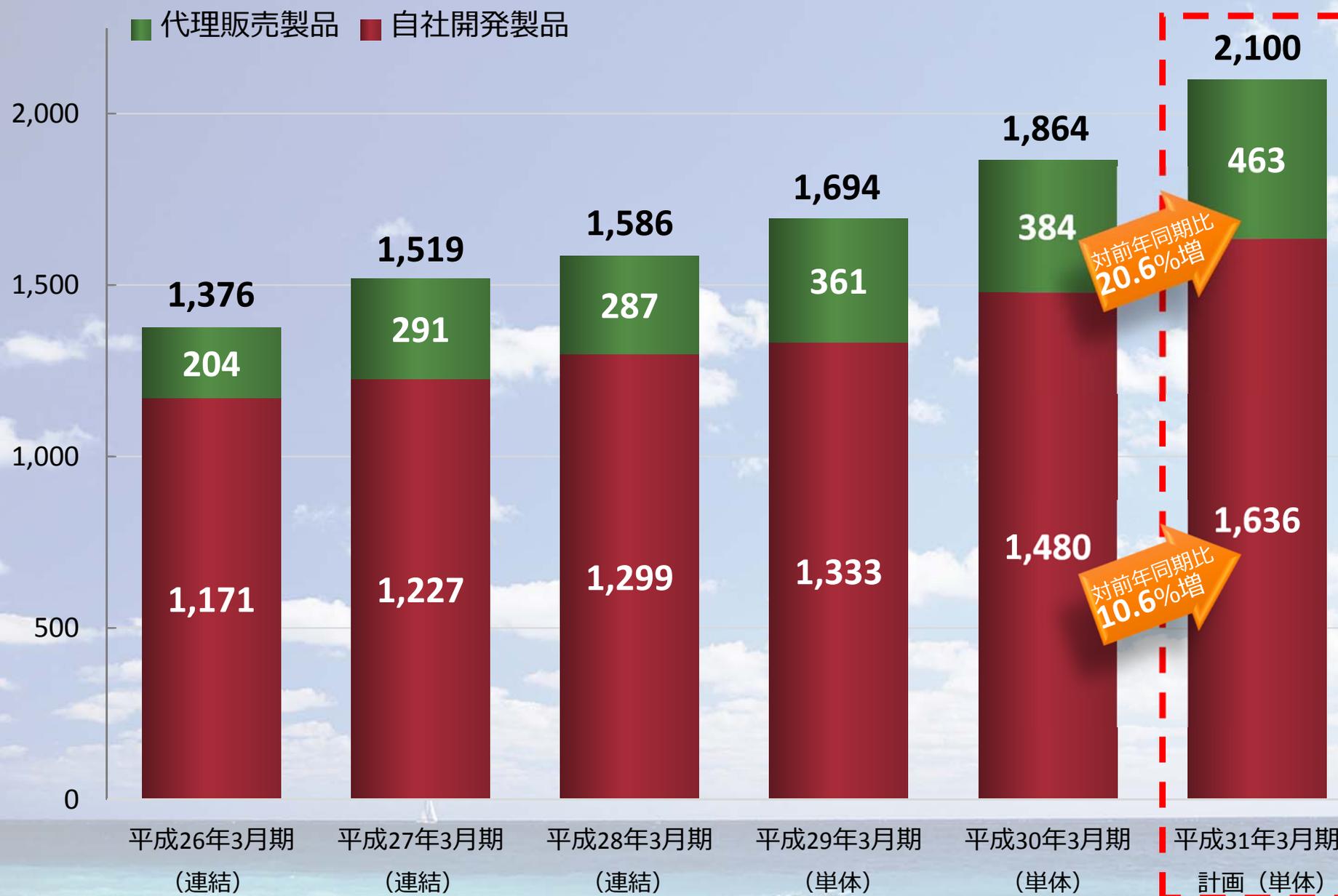
# 市場別売上高（半導体/FPD）

(単位：百万円)



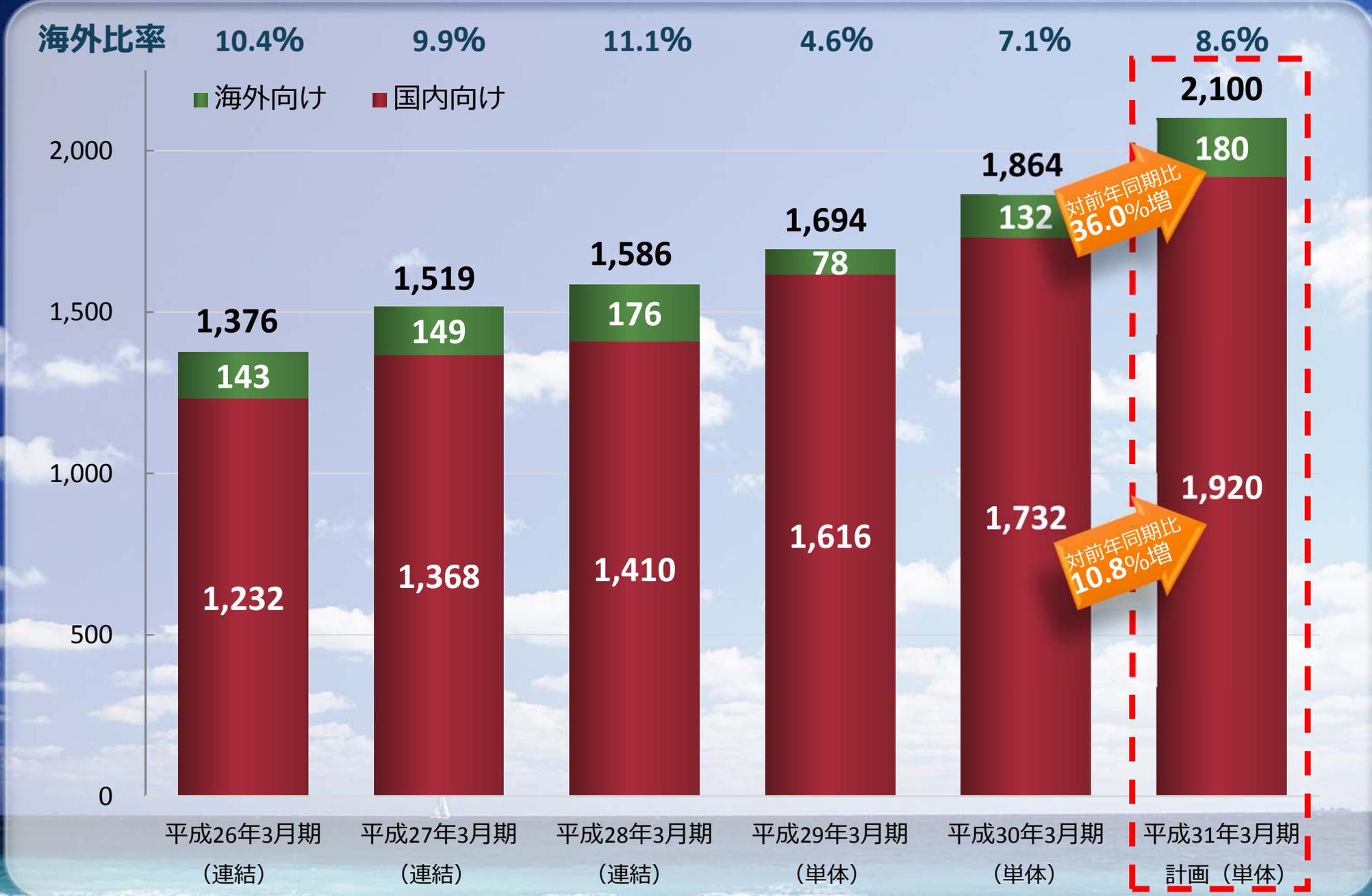
# 製品区分別売上高（自社開発/代理販売）

(単位：百万円)



# 販売先別売上高（国内/海外）

(単位：百万円)



**ご清聴ありがとうございました**